

福岡県における認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師の活動

◎松本 佳隆¹⁾

医療法人 徳洲会 福岡徳洲会病院¹⁾

臨床検査では精度保証が必要不可欠である。認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師の認定は、臨床化学・免疫化学の重要性を尊重し、精度保証体制の確立と維持管理を担う技師の育成に向けて（一社）日本臨床化学会と共同した本認定制度が設置され、2014年より実施されている。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため認定試験は中止となったが、2022年2月現在、日本全国で454名の認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師が登録されており、福岡県では46名が登録されている。

現在、認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師には何が求められているのか、何をすることができるのか、実際の役割が明確にされていない状況にあるが、福岡県における認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師の活動事例を報告する。

平成30年12月1日に医療法等の一部を改正する法律の一部の規定が施行される事に伴い、医療機関には「検査の精度の確保に関する責任者」（精度管理責任者）の設置と標準作業書、作業日誌並びに管理台帳の常備が義務付けられた。また内部精度管理の実施、外部精度管理の受験を行うこと並びに適切な研修の実施、人材育成に努める事となった。

その為、福岡県および近隣県の認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師が中心となり、法改正の内容の理解及び標準作業書、作業日誌、管理台帳の作成スキル習得を目的とした研修会「九州臨床検査品質保証研修会 in 福岡」（福岡県臨床衛生検査技師会主催）を企画し、講師も担当した。研修会は「精度保証の必要性と法改正のポイント」、「検査機器保守管理標準 作業書と作業日誌」、「測定標準作業書と管理記録」、「精度管理標準作業書と管理記録」の内容で、平成30年10月15日に開催した。

また、令和元年12月14日に第二回目の「九州臨床検査品質保証研修会 in 福岡」では、法改正後の立ち入り検査を経験した施設からの講演を受けて、意見交換を行う研修会を開催した。研修会を行うことにより、県内の病院間での連携も取りやすく、意見交換しやすい環境が整ったと考える。今回は法改正に対応するための研修会であったが、今後も定期的に認定臨床化学・免疫化学精度保証管理技師による研修会を開催していく予定である。

連絡先：福岡徳洲会病院 臨床検査科 092-573-6622（1244・1245）